

事業所名

社会福祉法人のゆり会 のぞみ牧場学園

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

20 日

法人理念		子どもから成人まで体の健やかな成長を願い、時にかなった福祉サービスの提供をする 保護者への支援を通して、将来への展望をもって協働する 地域社会に開かれた施設を目指す						
支援方針		保育・療育の高い専門性をもって、子どものニーズに適合した内容のプログラムを提供する。 動物とのふれあい活動を通じて、心理的困難状況におかれやすい子どもや保護者等に対し、心理的・情緒的安定を目指すと同時に、子どもの社会性や対人関係などの改善を目指す。 保護者等へのカウンセリングを通して、現在および将来的な問題解決と一緒に模索する。						
営業時間		8 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康状態のチェックと必要な対応を実施する。 保護者もしくは支援者に対して心身の状況を確認し、利用中に体調の変化がある場合には適切な対処（例：医療機関への受診、保護者への状況の報告など）を行う。 食事、衣類の着脱、排泄、身なりを整える等の生活を営む上で必要となる基本的技能の習得に対して、視覚支援の提示など子どもの障害特性に合わせた指導を行う。						
	運動・感覚	NCプログラム（認知言語促進プログラム）を用い、粗大運動、及び微細運動の状況について、作業療法士等が一人一人の子どもを評価し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化などに関する具体的な支援を行う。 感覚統合の視点を取り入れながら、個々の感覚ニーズに合わせ必要な感覚刺激を調整できるように配慮する。 乗馬セラピーを通して、腹筋や背筋などの筋肉の強化、体幹の安定、姿勢の改善を図る。						
	認知・行動	発達検査及びNCプログラムに基づき、心理士等が一人一人の子どもを評価し、発達段階に応じて適切な指導を行う。 子どもの発達段階に応じた指示の伝え方ができるよう、保護者や支援者にアドバイスを行う。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる不適切な行動に対しては、事前に環境調整など予防策を講じ、適切な行動の獲得に向けた支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	日常的にマカトンサイン及び絵カード等のAAC（補助代替コミュニケーション）を用い、言語及びコミュニケーションスキルの獲得を促す。 NCプログラムに基づき表出言語及び理解言語について評価を行い、発達段階に応じ適切なコミュニケーション手段（マカトンサイン、絵カード等）を選定し、環境及び関わり方の調整を実施する。						
	人間関係 社会性	日常の保育での遊びを通し、人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を実践する。 子どもの発達段階や特性に応じた環境調整並びに関わり方について検討し、子ども自らが自発的に集団に参加し手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 音楽療法やアニマルセラピー等を通し、情緒的な安定を図ると共に、適切な周囲との関わり方を身に付けられるよう支援する。						
家族支援		日々の連絡帳や個別面談を通し、子どもの発達の状況の相互の把握に努める。 保護者参観日、保護者向け講習会を実施し、ペアレントトレーニングを含む適切な関わり方についてのアドバイスを行う。きょうだい児向け行事の開催。			移行支援		保育所等との併用の場合は具体的な日数等の調整を行ったり、併用先へ支援内容等の共有や支援方法の伝達を行う。 保育所等への転園の場合は、支援内容等の伝達を行う。	
地域支援・地域連携		地域中核拠点登録事業所としての障害児支援事業所への研修会の実施 保育所等訪問事業の実施 地域行事への参加及び地域に開かれたイベントへの開催			職員の質の向上		研修への参加や資格取得の積極的な推奨 年間計画として、研修機会の制定 子どもに関連のある機関との連携会議への参加	
主な行事等		園内行事：入園式、卒園式、誕生会、運動会、クリスマス会、音楽発表会、卒園遠足、フルーツバスケット（きょうだい会）等 地域行事：羊の毛刈りパーティー（地域イベント）、ハワイアンナイト（地域イベント）						